



日本政策投資銀行

2019年8月  
新潟支店

## 新潟におけるインバウンド推進に向けて

- インバウンド獲得の3C戦略 -

- (Come again:再訪日客)×(Collaboration:他地域との協働)×(Concept tour:コンセプトツアー) -

### 1. 調査概要

- 当行では、2012年度より毎年インターネットによるアンケート調査「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を行ってきた（調査対象：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシアの8地域）。2016年度より、欧米豪（調査対象：イギリス、フランス、アメリカ、オーストラリア）の4地域を加えた計12地域の海外旅行経験者を対象としている。2018年度も6月から10月にかけて（公財）日本交通公社と共同で調査を実施した。
- 本件調査は、新潟地域を訪れたことがある訪日外国人旅行者の日本旅行に対する意向について整理を行っている。インバウンド観光が将来の成長産業として期待されている中、本件調査が新潟地域への誘客策を考える上での一助となれば幸いである。

### 2. 今回調査のポイント

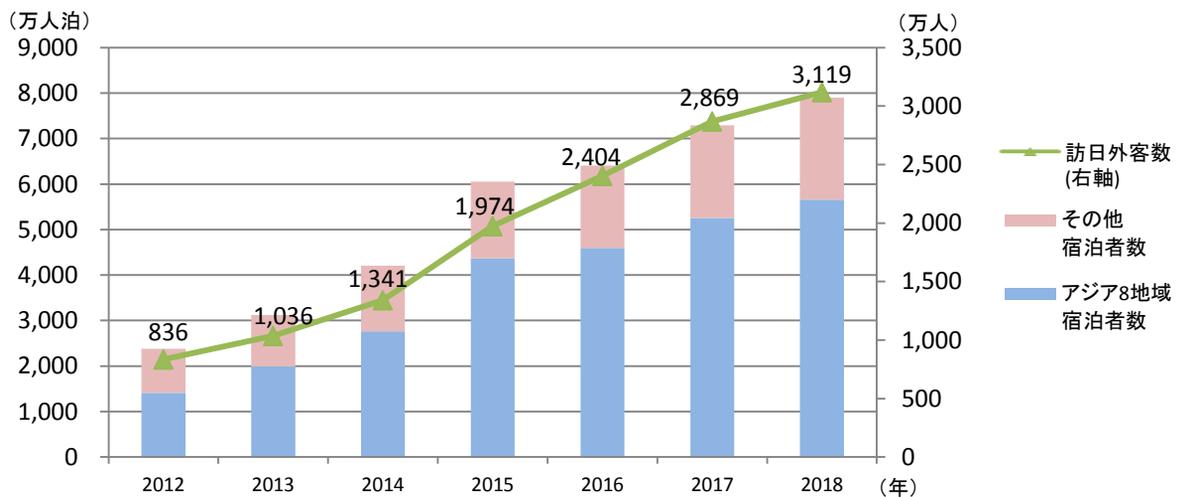
- 調査概要は以下の通り。
  - ①新潟県の2018年の外国人延べ宿泊者数は、中国、香港、台湾からの宿泊者数が増加した結果、全体では27.7万人泊と、2007年の調査開始以降過去最高を記録した。イギリスを除く欧米豪からの観光客も、アジア地域の増加率には見劣りするが相応に伸びている。しかし、本県は外国人延べ宿泊者数で全国31位に位置しており、全国的に見ればまだインバウンド客の獲得は遅れている状況。
  - ②アンケート調査によると、インバウンド客のうち6割弱は再訪日客である。彼らは、初回訪日で東京や大阪、京都、富士山等のゴールデンルートに沿って観光し、2回目以降の訪日にて初回では味わえなかったような地方の自然や温泉等の「コト消費」、郷土料理・地場食材等の「モノ消費」を求め、地方圏も訪れているようだ。新潟、佐渡のインバウンド客についても、訪日2回目以降の再訪日客が中心であり、彼らは国内人気エリアである富士山や東京、東北（仙台、福島）、北関東（日光）と共に、新潟、佐渡に訪れている。また、新潟往訪経験者の満足度は全般に高く、特に自然に対する満足度が高い。
  - ③新潟、佐渡のインバウンド観光客獲得にあたっては、再訪日層をターゲットに据えて、富士山や東京、東北、北関東といった周遊エリアと協働しながら、インバウンド客の関心が高く、新潟としても強みを有する自然体験のコト消費（桜・紅葉・雪景色鑑賞など）をテーマに、各地を周遊するコンセプトツアーの企画・提案が、誘客増に繋がるだろう。

## 全国におけるインバウンドの現状

### -インバウンド客は各国で軒並み増加し、2018年は過去最高-

- 全国のインバウンド客数は、2013年に1,000万人の大台に乗り、2018年には3,119万人と過去最高を記録。また外国人延べ宿泊者数は、2018年で前年比8.4%増の7,904万人泊となっている。
- 2018年の外国人延べ宿泊者数を国・地域別にみると、中国の宿泊者数が2,094万人泊（対前年比19.0%増）と前年に続き最も多くなった。東南アジアの国々からの宿泊数も着実に増加している一方で、対訪日外国人旅客比率は減少している。

図表1 インバウンド客数と外国人延べ宿泊者数の推移



(単位: 万人泊)

	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	宿泊者数	構成比												
アジア8地域	1,410	59.2%	1,991	63.7%	2,765	65.7%	4,368	72.2%	4,597	71.8%	5,254	72.0%	5,655	71.5%
韓国	289	12.1%	378	12.1%	434	10.3%	674	11.1%	774	12.1%	1,102	15.1%	1,126	14.2%
中国	404	17.0%	415	13.3%	780	18.5%	1,629	26.9%	1,687	26.3%	1,760	24.1%	2,094	26.5%
台湾	380	15.9%	618	19.8%	794	18.9%	1,049	17.3%	1,053	16.4%	1,139	15.6%	1,147	14.5%
香港	162	6.8%	255	8.2%	318	7.6%	481	7.9%	521	8.1%	626	8.6%	594	7.5%
タイ	81	3.4%	143	4.6%	200	4.8%	240	4.0%	239	3.7%	261	3.6%	289	3.7%
シンガポール	62	2.6%	88	2.8%	111	2.6%	138	2.3%	152	2.4%	170	2.3%	188	2.4%
マレーシア	33	1.4%	51	1.6%	74	1.8%	84	1.4%	93	1.5%	97	1.3%	105	1.3%
インドネシア	-	-	43	1.4%	55	1.3%	73	1.2%	78	1.2%	100	1.4%	112	1.4%
その他	972	40.8%	1,134	36.3%	1,443	34.3%	1,683	27.8%	1,809	28.2%	2,039	28.0%	2,249	28.5%
アメリカ	248	10.4%	289	9.3%	319	7.6%	380	6.3%	429	6.7%	478	6.6%	533	6.7%
オーストラリア	67	2.8%	89	2.8%	117	2.8%	147	2.4%	160	2.5%	181	2.5%	206	2.6%
イギリス	49	2.1%	58	1.9%	72	1.7%	91	1.5%	96	1.5%	107	1.5%	117	1.5%
フランス	41	1.7%	55	1.8%	67	1.6%	77	1.3%	82	1.3%	90	1.2%	111	1.4%
合計	2,382		3,124		4,207		6,051		6,407		7,293		7,904	
対訪日外国人客数比率	285.0%		301.5%		313.7%		306.5%		266.5%		254.2%		253.4%	

(注1)国籍(出身地)不詳をその他に含む。

(注2)アジア8地域とは韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア(2010年1月以降)、インドネシア(2013年1月以降)をいう。

(注3)従業者数10人以上の施設が調査対象

(注4)2018年宿泊者数は速報値

(注5)対訪日外国人客数比率=外国人延べ宿泊者数÷訪日外客数(2018年は暫定値)

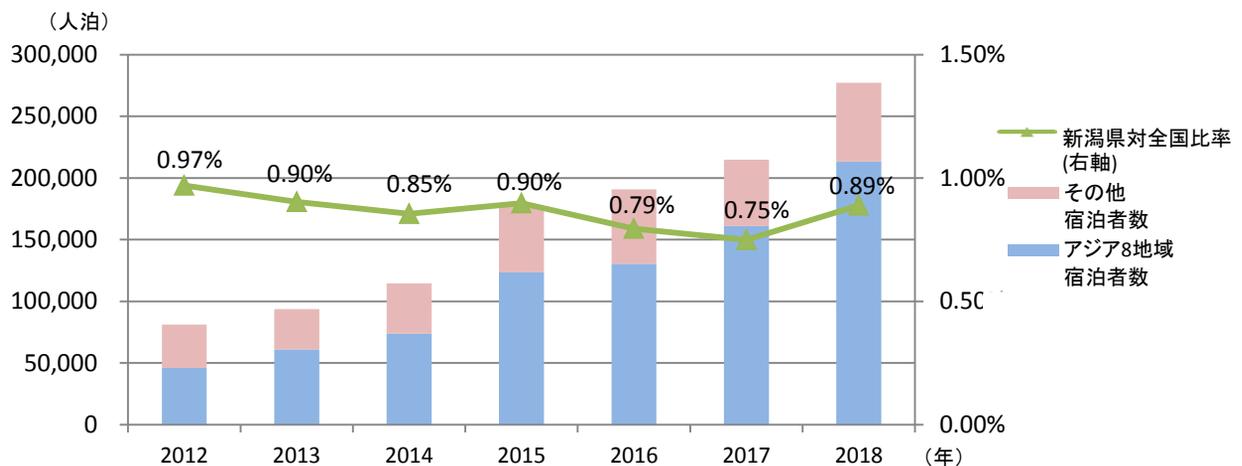
(出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」、日本政府観光局(JNTO)「国・地域別 / 目的別 訪日外客数」を基に日本政策投資銀行作成

## 新潟県におけるインバウンドの現状（１）

### -調査開始以降最高の宿泊者数-

- 新潟県における2018年の外国人延べ宿泊者数は、27.7万人と堅調に増加しており、その増加率は+29.1%と、全国水準+8.4%を大きく上回った。
- 国・地域別に見ると、各国で順調に増加する中、特に中国は+68.4%と大幅な増加を示した。

図表２ 新潟県の外国人延べ宿泊者数および新潟県対全国比率の推移



(単位:人泊)

	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		増減率
	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	宿泊者数	構成比	
アジア8地域	45,950	56.7%	61,090	65.3%	73,870	64.5%	123,610	69.7%	130,550	68.4%	161,040	74.9%	213,400	76.9%	32.5%
韓国	12,300	15.2%	14,640	15.6%	11,710	10.2%	17,720	10.0%	18,790	9.8%	18,500	8.6%	21,420	7.7%	15.8%
中国	12,420	15.3%	14,110	15.1%	18,460	16.1%	38,240	21.6%	33,910	17.8%	36,480	17.0%	61,450	22.2%	68.4%
台湾	12,930	15.9%	19,530	20.9%	27,220	23.8%	36,830	20.8%	44,100	23.1%	70,930	33.0%	80,160	28.9%	13.0%
香港	3,520	4.3%	6,700	7.2%	7,090	6.2%	13,460	7.6%	15,970	8.4%	18,260	8.5%	29,860	10.8%	63.5%
タイ	2,440	3.0%	1,950	2.1%	3,420	3.0%	6,170	3.5%	7,200	3.8%	6,550	3.0%	8,350	3.0%	27.5%
シンガポール	1,280	1.6%	1,790	1.9%	3,170	2.8%	5,180	2.9%	5,380	2.8%	5,990	2.8%	7,260	2.6%	21.2%
マレーシア	1,060	1.3%	1,340	1.4%	1,420	1.2%	2,960	1.7%	3,010	1.6%	2,380	1.1%	2,850	1.0%	19.7%
インドネシア	-	-	1,030	1.1%	1,380	1.2%	3,050	1.7%	2,190	1.1%	1,950	0.9%	2,050	0.7%	5.1%
その他	35,150	43.3%	32,500	34.7%	40,740	35.5%	53,710	30.3%	60,400	31.6%	53,830	25.1%	63,970	23.1%	18.8%
アメリカ	8,200	10.1%	8,220	8.8%	8,550	7.5%	11,310	6.4%	10,620	5.6%	10,190	4.7%	11,810	4.3%	15.9%
オーストラリア	2,620	3.2%	2,770	3.0%	3,090	2.7%	8,340	4.7%	12,040	6.3%	9,880	4.6%	10,380	3.7%	5.1%
イギリス	3,310	4.1%	1,990	2.1%	3,300	2.9%	3,430	1.9%	3,210	1.7%	2,580	1.2%	2,130	0.8%	-17.4%
フランス	730	0.9%	1,010	1.1%	900	0.8%	1,270	0.7%	1,330	0.7%	840	0.4%	1,510	0.5%	79.8%
合計	81,100		93,590		114,610		177,320		190,950		214,870		277,370		29.1%
対訪日外国人客数比率	0.97%		0.90%		0.85%		0.90%		0.79%		0.75%		0.89%		
対全国の外国人宿泊者数比率	0.34%		0.30%		0.27%		0.29%		0.30%		0.29%		0.35%		

(注1)国籍(出身地)不詳をその他に含む。

(注2)アジア8地域とは韓国、中国、台湾、香港、シンガポール、タイ、マレーシア(2010年1月以降)、インドネシア(2013年1月以降)をいう。

(注3)従業者数10人以上の施設が調査対象

(注4)2018年宿泊者数は速報値

(注5)対訪日外国人客数比率=新潟県外国人延べ宿泊者数÷訪日外客数(2018年は暫定値)

(注6)対全国の外国人宿泊者数比率=新潟県外国人延べ宿泊者数÷全国外国人延べ宿泊者数

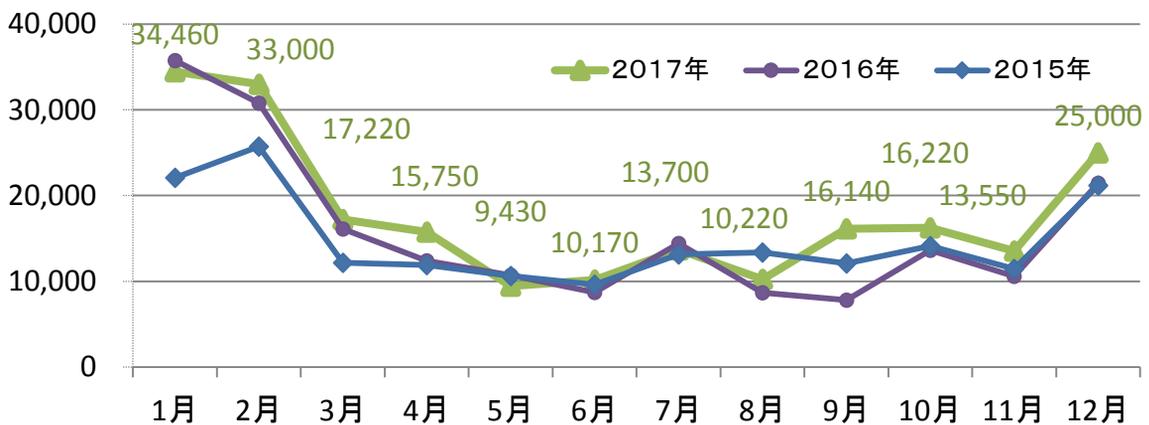
(出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」、日本政府観光局(JNTO)「国・地域別/目的別訪日外客数」を基に日本政策投資銀行作成

## 新潟県におけるインバウンドの現状（２）

### -引き続き冬場中心の傾向-

- 新潟県の2017年外国人延べ宿泊者数を月別にみると、通年での宿泊者数は増加傾向にあるものの、引き続き冬場スキーシーズンの12月～3月の全体に占める割合が高く51.0%（2016年度54.5%）となっている。
- 特に中国では、北京冬期オリンピックを控え、スキー人口が増え続ける可能性が高く、スキー場も急増している。しかし、中国スキー場は人工雪が多く、日本の天然雪スキー場に対するニーズは今後高まるとみられる。

図表3 新潟県の月別外国人延べ宿泊者数（人泊）



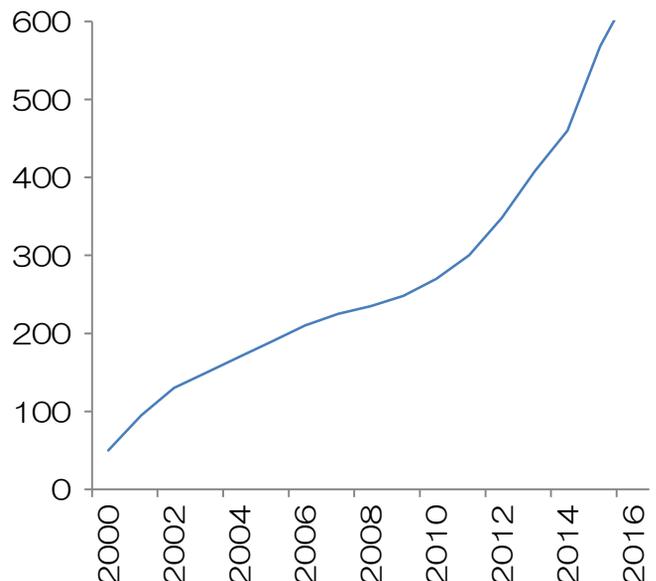
(出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」より日本政策投資銀行作成

図表4 国別外国人延べ宿泊数（人泊）

	四半期別			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
アジア8地域	63,940	25,840	29,910	41,390
韓国	5,760	4,260	3,390	5,090
中国	11,930	7,410	8,420	8,720
台湾	30,010	9,020	15,170	16,750
香港	10,210	1,780	1,190	5,080
タイ	2,810	1,300	630	1,800
シンガポール	1,760	1,330	420	2,490
マレーシア	850	390	270	870
インドネシア	610	350	420	590
その他	20,740	9,510	10,150	13,380
アメリカ	2,090	2,700	2,210	3,190
オーストラリア	7,630	550	750	960
イギリス	610	630	720	620
フランス	200	230	210	210
合計	84,680	35,350	40,060	54,770
構成比	39.4%	16.5%	18.6%	25.5%
前年度比		11.2%	29.7%	20.0%

(出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」より日本政策投資銀行作成

図表5 中国のスキー場数（箇所）

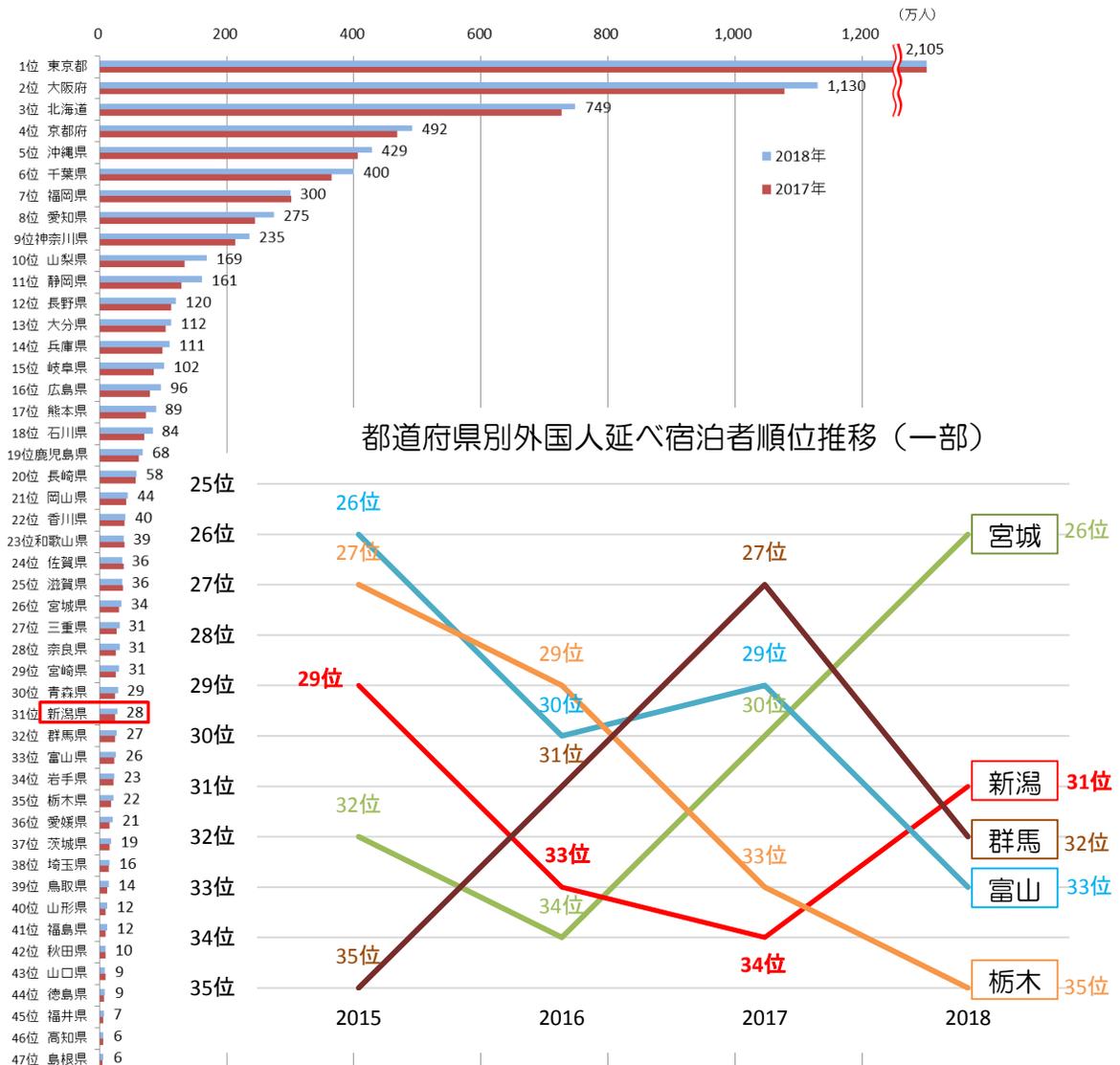


(出所)2016 China Ski Industry White Bookより日本政策投資銀行作成

## 都道府県別外国人延べ宿泊者数の状況 -新潟県は全国31位（前年から3位アップ）-

- 都道府県別にみると、新潟県の外国人宿泊者数は、2018年において全国31位に位置しており、前年から3位順位を上げた。

図表6 都道府県別外国人延べ宿泊者数



(注1)順位は2018年順、2018年宿泊者数は速報値  
 (注2)従業者数10人以上が対象  
 (出所)国土交通省「宿泊旅行統計調査」

# 「アジア8地域及び欧米豪における 訪日外国人旅行者の意向調査」

-全国及び主要都市と新潟・佐渡の訪問経験者及び訪問希望者の比較-

## 調査概要

### 1. 調査方法

インターネットによる調査

### 2. 調査時期

2018年6月29日～2018年7月12日

2018年10月5日～2018年10月29日（追加調査）

### 3. 調査地域

韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域

（注：中国は北京及び上海在住者のみ）

（注：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの4地域は前回調査より調査対象として追加）

### 4. 調査対象者

20～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者

（注：中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く）

### 5. 有効回答者数

上記各地域に居住する住民計6,283人

（注：中国は北京及び上海在住者のみ。割合は北京50%：上海50%）

（注：n=29以下は参考値として記載）

### 6. 協力実査会社

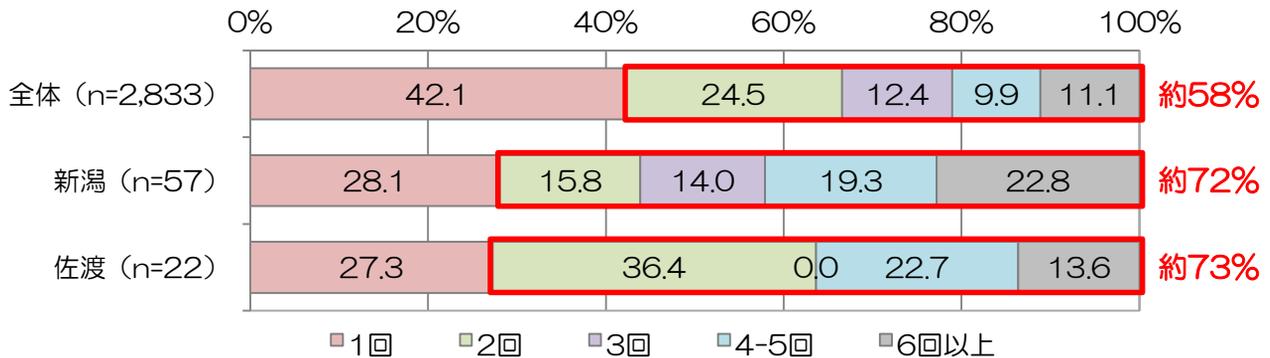
楽天リサーチ株式会社

## 訪問者属性

### -訪日客は6割弱が再訪日客-

- インバウンド客の6割弱は再訪日客である。新潟、佐渡を訪れるインバウンド客も、7割超が再訪日客であり、全国水準に比べると高水準である。
- 国別に見ると、台湾及び香港からの観光客は、平均訪日回数が多く、また、訪日未経験者からも訪日への意欲が窺える。  
一方で、中国及び韓国、欧米豪等からの観光客については、平均訪日回数は相対的に少なく、また、訪日未経験者の訪日意欲も弱い。

図表7 訪日経験回数



再訪日客

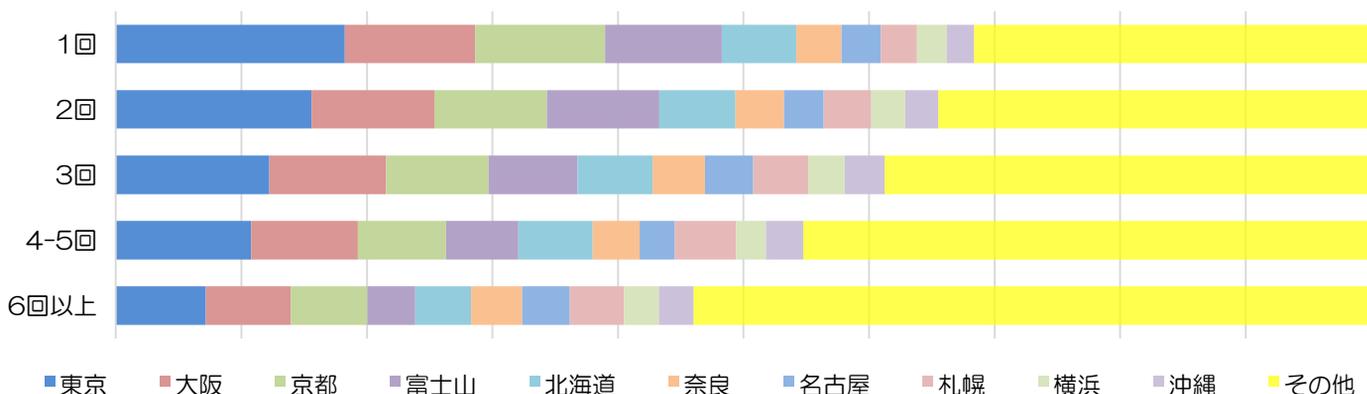
図表8 国別訪日傾向

	人	%	回	%
	回答者数	訪日経験率	訪日経験者の平均訪日回数	訪日未経験者の訪日計画率
台湾	502	80.9%	3.2	40.0%
香港	500	80.2%	3.5	56.0%
韓国	536	69.6%	2.5	16.0%
中国	544	62.1%	1.7	18.0%
タイ	516	59.7%	2.0	41.0%
シンガポール	518	51.7%	2.3	40.0%
インドネシア	512	35.2%	1.6	35.0%
マレーシア	506	29.8%	1.8	34.0%
オーストラリア	535	23.4%	1.7	19.0%
フランス	544	19.7%	1.8	16.0%
アメリカ	532	18.2%	2.3	10.0%
イギリス	538	14.7%	1.9	15.0%
合計平均	6,283	45.1%	2.4	24.0%

## 訪問者属性 -再訪日客は地方を訪れる-

- 訪日経験が1回の観光客については、その多くが東京・大阪・京都・富士山など国内メジャー観光地を訪れている。他方で、これらメジャー観光地を往訪済の観光客が、2回目の訪日で地方圏への観光を指向する傾向にある。
- 地方訪問希望者からは、地方の「自然観光地」や「温泉」、「歴史的な建造物・町並み」といった『コト消費』への希望が強く確認される。
- 以上を踏まえると、訪日初回でメジャー観光地を一通り経験した人々が、上記地方固有の地域資源への関心を背景に、訪日2回目以降に地方へと足を運んでいるものと推察される。

図表9 訪日回数別訪問経験地（複数回答可。総回答数に対する割合）



図表10 地方訪問希望者が地方でしたいこと（複数回答可。上位順）

分類		地方観光地訪問経験	
		無し (n=622)	有り (n=2,023)
自然	自然観光地を訪れる	368	1,094
文化	温泉を楽しむ	394	1,088
食	その土地の郷土料理を食べる	349	1,066
食	その土地で採れた魚介や肉、野菜や果物を味わう	336	970
歴史	歴史的な建造物（寺や神社、城など）や遺跡を訪れる	342	926
歴史	歴史的な街並みを楽しむ	335	923
自然	花や紅葉を楽しむ	289	866
自然	雪景色を楽しむ	288	835
自然	都市部とは違った地方ならではの風景を楽しむ	259	799
文化	その土地ならではの菓子を購入する	241	772
文化	その土地の伝統芸能や文化を楽しむ	233	712
文化	その土地の祭りを楽しむ	225	699
文化	その土地で作られた工芸品を購入する	203	584
文化	地域に住む人々との触れ合いを楽しむ	176	584

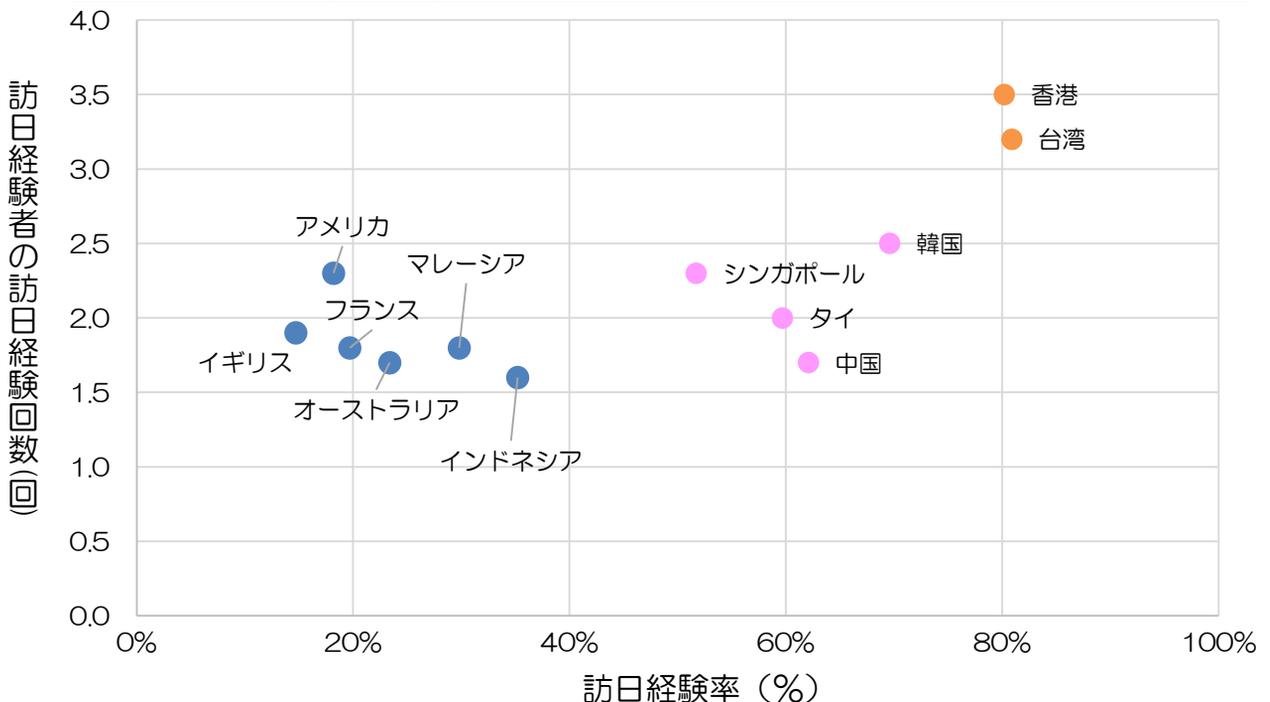
## 訪日経験による類型化

### -韓国、中国、タイ、シンガポールの市場開拓を-

- 再訪日客が地方部の観光を指向しているという傾向を踏まえれば、新潟、佐渡の誘客ターゲットは「訪日経験者が多い国（訪日経験率が高い）」とすることが有効と考えられる。
- 訪日経験を国別にみると、台湾及び香港には訪日経験者が多く、彼らの再訪日傾向も強く、新潟、佐渡へも相応の観光客が訪れている。
- 次いで、韓国・中国・タイ・シンガポールにも訪日経験者が相応割合確認されることから、これらの国々での市場開拓も観光客獲得に有効と推察される。

図表11 訪日経験による類型化

		訪日経験率	
		低	高
訪日経験者の 訪日回数	多	インドネシア・マレーシア ・欧米豪	台湾・香港
	少		韓国・中国・タイ ・シンガポール

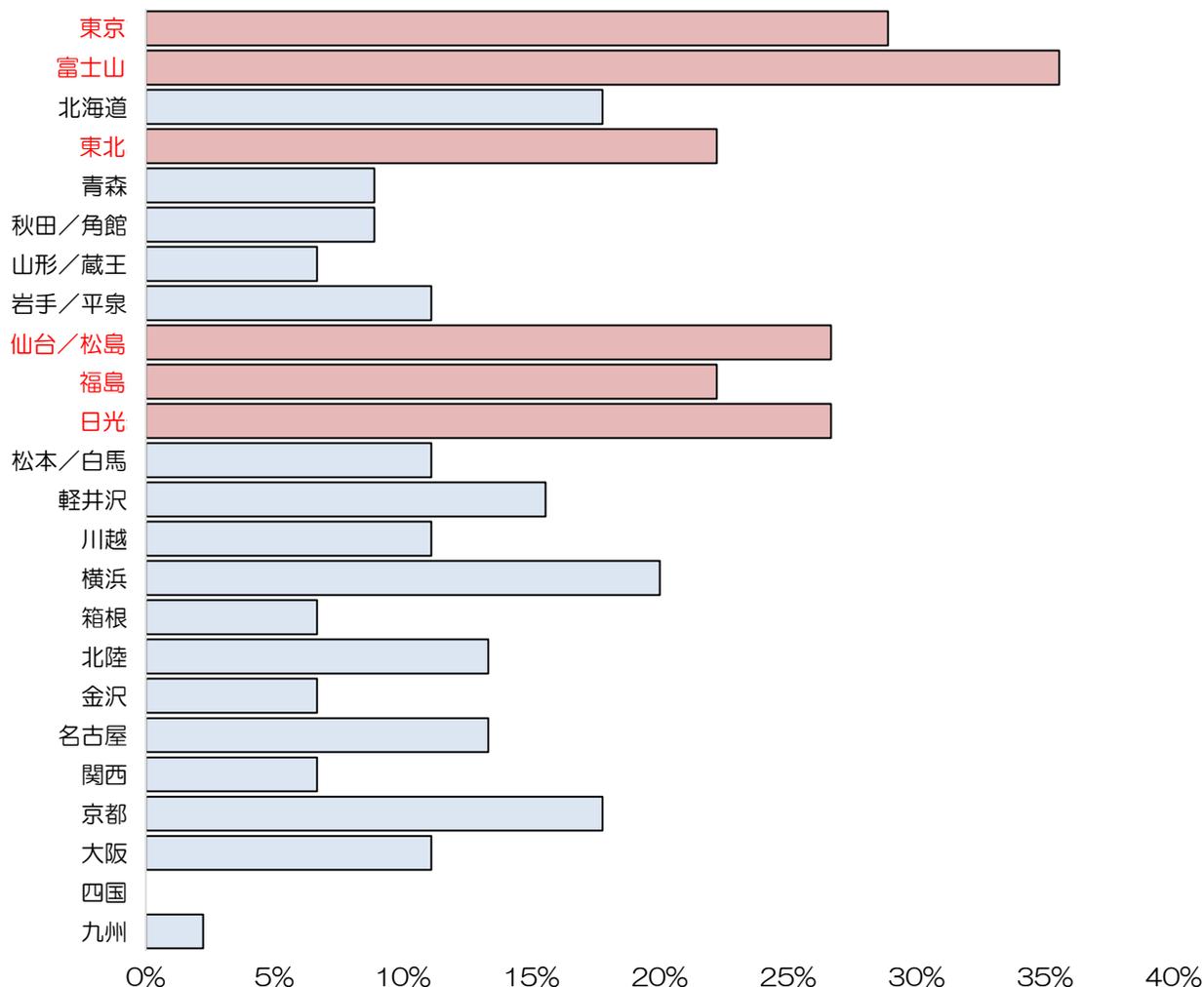


## 新潟旅行客の周遊性について

-新潟、佐渡単独では無く、他地域と連携した観光ルート構築を-

- 新潟往訪者は、新潟単独の旅行では無く、富士山や東京、東北エリア、日光などの周遊の中で新潟を訪れる傾向にある。
- 新潟、佐渡観光のプロモーションや営業にあたっては、新潟、佐渡単独で行うのではなく、上記周遊エリアの観光事業者と連携しながら、周遊を意識した観光ルートの提案が効果的と考えられる。

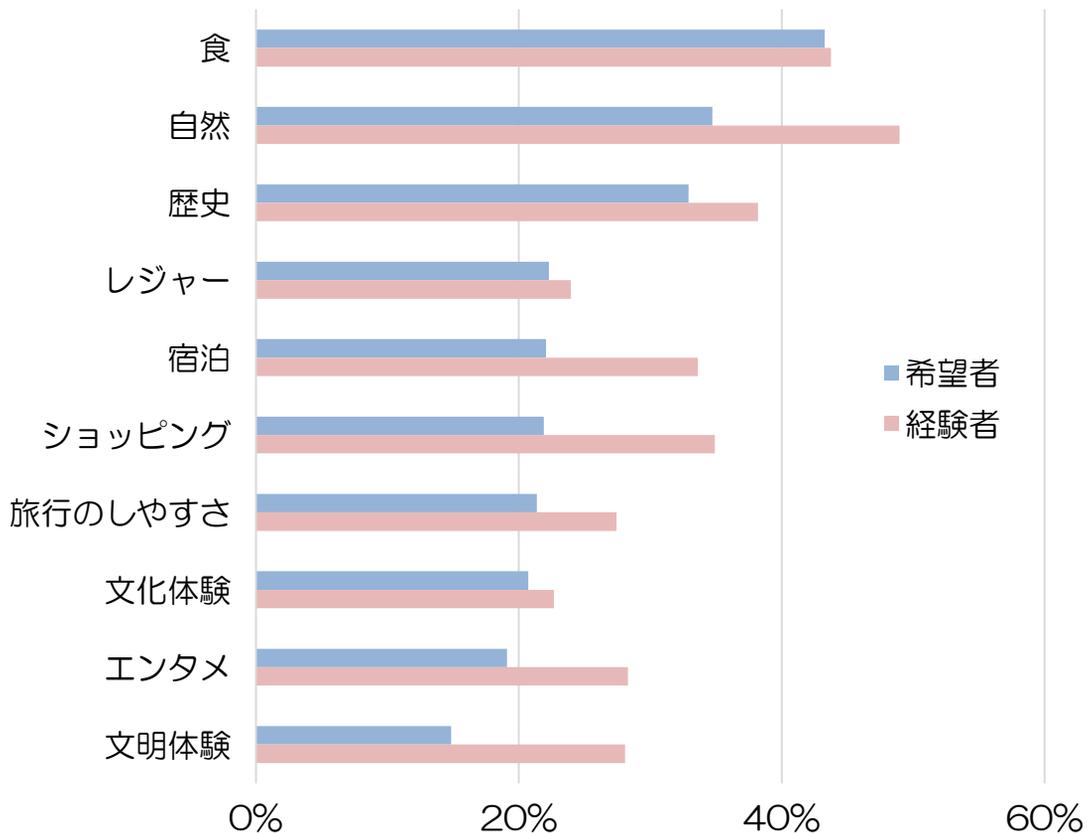
図表12 新潟と一緒に往訪した観光地



## 訪日旅行に求めること -新潟は自然と食に強み-

- 新潟往訪経験者の満足度は全般に高く、特に食と自然が高い。一方、レジャーについて、期待度・満足度順位の観点からは、期待度では順位が高かったものの、満足度では順位を大きく下げた。満足度の高い自然を活かしたアウトドア・アクティビティ等の改善が望まれる。
- 新潟は、オリンピック・パラリンピック等を背景に、中国からの増加が見込まれるスキーリゾートを有している。食を中心としたモノ型の観光に加え、体験を重視したコト型の観光（レジャー）を軸とするコンセプトツアーを強化することによって、さらに満足度を高めることが可能とみられる。

図表13 新潟往訪希望者の期待度と新潟往訪経験者の満足度





日本政策投資銀行  
Development Bank of Japan

©Development Bank of Japan Inc.2019

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要です。当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 新潟支店 企画調査課

〒951-8066 新潟市中央区東堀前通6-1058-1 中央ビルディング7階

TEL : 025-229-0711 FAX : 025-224-5986